

それから交通安全対策事業これも新規事業としてガードレールの設置等七十万円が新たに組まれてゐる次第でございます。それから二に新しく横田飛行場周辺排水路整備事業として四千九百円という数字が新たにのうろ付てゐるようは次第でございます。なお単独事業におきましては既定計画千四百四十七円に好しまして一億七千八百四十六円七角という数字になります。これも第一、第三、第六、第二中学校等の附帯工事がせまらうてあります。そのつぎの第五第四小学校の整備事業を三百四十五円から三百八十八円と増額しております。第二中学校の屋内体育館の附帯工事業として三百七十五円、それから各小中学校を通過しまして新たに下備所と二を改良して参ります。改良工事業として九百円を新しく計画してゐるわけでございます。その既定計画よりも下回ります。工事を進めて参ります。さらに給食設備の工事にしまして三百三十万円、それから街路整備事業、これは土木事業でございますが主として、み、み、街路の用地買収等を企画してものでございましてこれが千三百十万円、公

園整備事業におきまして千二百十万円、さらに公園整備事業の一環として湯原プールの基礎工事といたしまして本年度一千五十万円それから一般道路整備、特に通学路を中心に道路を重点として、六百十八万六千円、それから新たに事業として加ふる分は次第でございます。そのつぎのグレーダー購入は計画しております。交通施設整備事業として六十万円、住宅整備事業は計画しており、下水道路あるいは伝染病院等の買収金これは多少の変動がございます。既定計画の中より三百六十五万円の西多子に組合の建設費、経常費のほかに移行したものでございまして、三百六十五万円の減というところにあります。つぎは学校用地の取得事業でございます。加美平区画整理地五回にすでに土地として確保してございます。第二中学、あるいは今後新設の場合五回あります。六回あります。いすれにいたしまして、それから買収費として地不償一億四百円を根幹として、一般財源を二千五百三十万円これは自己持出でございますがこれを加之まして用地買収費として一億二千九百五十万三千円という下回りは増を

あるものとございます。

つぎに、大正事業といたしまして、既定計

画にのつておりませんものを新たに五百四十八万五千円を事業として

計画し、つぎとするものとございます。以上甚だ簡単でございしますが、

財政再建計画の変更にもなっており、議案第三十四号とて、

提案申上げた次第でございすので、よろしくお願いいたします。

議長（田村匡雄君）

二二で暫時休憩いたします。

議長（田村匡雄君）

午後一時 開議

議長（田村匡雄君） 休憩中に引続き議案を再開いたします。

議長（田村匡雄君）

二れより質疑を行います。

主番（大石秀伍君） 先ほどの全協が各議員より微に入り細にわた

る質疑があるのですが、私もそこで四角ばかりを質疑いたして、

思います。最初に税収増についでございすすが、今後の新しい

計画変更の人口調査に依りすすと三万四千四百三十二人ということに

つておりすが、二れはむろん加美田町等の入居にあつて、この

ようにあることと思ひすが、二れに比較して、今度の計

画変更における税の歳入が、ちやんと過分のうちに考へられすが、

この点、税務課長が、けつこうです。かり一体四十三年度は、何%位が

税の伸率がみられるか、又、この時点において、二億四千七百三十万

円という数字ほどの時点において、数字をふくめてあるか、二れの説

明を願ひたい。二れから取資の配置が、況でございすが、二れに

依り、ちやんと、二れが、数字が、あるやうですが、最近非常

にパートタイマーが、たくさん見受けられるのでございすが、二れ

らば、年間を通じて、何人位雇う、どの位の金額を払うてあるか、

臨時工に等しいやうな非常に多くのパートタイマーを見受けられ

るの、ございすが、二れが、恒久的なものか、期間的に二れを雇うてある

のか、この点の二説明を願ひたい。二のつぎは、家賃の伸でござい

すが、四多、二は、組合の買収金が、四十三年度、前年度の決算に

り増額してある理由についで、歸りたと思ひます。今二つ、抑留の対象

とあるものの補助金でございすが、甚だ、財政需要額の三%という

と、二れが、二れの増額が、ござるものと、思ひます。二れを、二%

に止め、つておりすが、理由についで、二説明を願ひたいと思ひます。

福生町議会

わけを、適当に、おきまう。加美平筆を、行なわれまう。
たす、はい、ゆる、現地換地の方式により、工事を確保し、いただ
さす、く、その、工事あるいは、田地買収費を、所と、は、計上、く
あ、の、公共用地に、取得、く、いた、だ、き、たい、という、ふう、は、方法、で、た、だ
い、す、の、と、ころ、進、んで、お、る、次第、で、ござ、います。や、れ、から、そ、の、年、度、の
決算、見、込、額、で、ござ、います。か、出、納、閉、鎖、期、も、同、近、で、あり、い
ず、れ、も、二、れ、りの、決算、数字、は、歳、入、に、お、き、ま、う、も、下、回、る、こと、は
な、か、ら、う、か、と、考、え、る、次第、で、ござ、います。多、少、な、り、と、も、二、れ
りの、数字、に、は、ゆ、とり、を、も、ろ、出、納、閉、鎖、する、す、う、当、局、の、指、示、等、
も、ある、関係、で、歳、入、に、つ、き、ま、う、は、極、力、確、実、に、見、積、り、の、範囲、に、止、め、
歳、出、に、つ、き、ま、う、は、過、下、に、は、り、な、い、す、う、極、力、押、さ、う、と、変、更、計、画、を、作、成、
い、た、し、ま、う、た、す、う、は、お、事、で、ござ、います。そ、の、他、に、つ、き、ま、う、は、
拙、当、課、長、か、り、ご、答、へ、申、し、あ、げ、ま、う、で、ござ、う、と、お、願、い、し、た、ま、
。税、務、課、長、(吉、谷、徳、男、君、) 私、の、方、か、り、税、収、入、の、面、に、つ、いて、ご、説、明、申、し、
あ、げ、ま、う。に、だ、い、す、二、上、番、議、員、工、ん、か、り、の、ご、質問、の、税、収、入、の、見
積、り、で、ござ、い、ま、す、が、最、初、に、加、美、国、地、の、仲、で、ござ、い、ま、す、か、加、美、平

田地、は、ご、承、知、の、と、あり、千、四、十、戸、の、入、居、が、終、り、ま、う、た、が、住、民、税、の
課、税、賦、課、期、日、が、四、十、三、年、度、に、お、き、ま、う、は、今、年、の、一、月、一、日、現、在、福、生
県、に、住、居、を、要、する、もの、と、い、う、こと、が、あ、る、税、の、賦、課、期、日、と、は、押、さ、ら
れ、て、お、り、ま、う、の、ご、加、美、平、国、地、に、入、居、が、始、ま、り、ま、う、た、の、が、二、月、に、一、日、
七、十、戸、に、や、れ、から、五、月、が、三、百、七、十、戸、と、い、う、ふう、に、入、居、を、お、し、ま、う、
の、ご、二、の、分、に、対、する、所、定、税、は、四、十、三、年、度、か、り、入、る、こと、に、な、り、ま、う、
や、れ、から、に、だ、い、す、上、程、を、お、し、ま、う、歳、入、の、二、億、四、千、七、百、三、十、万、円、税
収、入、で、ござ、い、ま、す、が、二、れ、に、つ、き、ま、う、は、福、生、県、の、過、去、十、年、間、の
税、の、伸、率、や、う、い、う、もの、か、り、推、定、し、ま、う、二、の、数字、を、お、し、た、め、に、ご、す
が、十、年、間、に、平、均、し、て、下、体、十、七、%、前後、の、税、の、伸、率、と、な、て、お、り、ま、う、
四、十、三、年、度、に、お、き、ま、う、は、二、れ、か、り、上、回、る、見、積、り、を、考、え、て、お、り、ま、う、
が、四、十、一、年、度、の、決算、見、込、額、が、二、に、の、ご、お、り、ま、う、が、二、億、三、千、四、十、六、万、円、
六、千、円、と、い、う、数字、で、ござ、い、ま、す、が、二、れ、は、カツ、コ、書、で、七、百、四、十、五、万、円、
と、あり、ま、う、が、第一、種、の、第三、種、の、特別、交付、金、が、入、る、お、り、ま、う、の、ご、二、れ
を、差、引、き、ま、う、と、純、然、に、な、る、税、の、分、に、つ、き、ま、う、は、二、億、三、千、三、百、万、円、
に、な、る、と、思、い、ま、す、が、二、れ、の、大、体、十、九、%、位、の、伸、率、と、な、り、ま、う、た、し、

五十五名だけ登録した。そして臨時、特に要望のある臨時事務
のやり取り、計算等が臨時でできる仕事につきまゝは担当課から
の申し出に依りまして私の手は逐次出勤願うておる状態であ
ります。前年度は下休建に二千人百名位に上っております。支
払いの金額が約九十万円、それから現在の勤務は時間給が八
円、その他に足代として三千円を払い、午前九時から午後四時迄で
実働六時間に對して時間給四十八円と足代三十円の計五百十円が
来月のに下りておるわけでございます。やういふことが二か所固定化
することばまずいと思ひます。一か所事務量が急にふえまして人と
切りわけにくいわけは、やはりはいといふことで最近ではおの
臨時の
人を見つづけることも困難なことであり、とて正規の職員を雇うとい
ふことに依りますと定数の問題にもひつかかるというところで現
在はパート
タイマーなどの臨時の事務を切りわけておるわけでございます。それ
から十三員にありましてやうに、来年度はひとりひとりに増等を
勘案した。そして何人かはやさなければいけません。というやうな
ことでこの計画では百七十九名、従いまして五名位のめくでござい

ほとんど完全な事務の執行をいたしたと考へております。
簡単にございます。それ以上で答へを終ります。

三井物産(株) 森田 武君

十五員の客の附会の内訳の半が、団体に対する

もので西多摩更生組合員組合、これが先程四十二年度と四十二年
度が増した。これにつきまして、二箇向がございまして、四十二年
の西多摩更生組合の手算を申しあげますと福生町の負担金が当初
三千六百八十七円九千四百七十五円と、これが二回の増減がござい
まして現在二にのさしております。三千六百八十七円九千四百七十五
円に、この理由をいいたしましては、まず一番大きな理由は、
由は、し尿の投入量が減ったというところが一番大きな理由だと思ひ
ます。それに對しまして四十二年度は三千九百三十二円、これが
福生町の負担金に上っております。そして四十二年度の見通し
をいいたしましては、昨年度まで業者が所有してありまして、改善する
穴がいろいろ制約がございまして、四十二年度の三月から今年度
におきまして相当量のし尿が入っております。そのために本年度
は昨年度と同じやうな量ではなく、さらに増するのではなからうか

と思っております。三千九百二十万二千円のうち約九十五%の負担金を計上しにゆけてございます。

。教育長（藤原俊天君） 私に對するご質問の第二小学校の児童の増加見通しについてお答え申しあげたいと存じます。二小の管内は加美平に集田庄迄がございという特殊な場合を除くは福生地区が二番子供のひそる地区でございます。その一つに能川の公田庄迄がそろそろ成熟期に入らさうというのと、仮言えると思っております。成熟期と申しますのは大体に社住迄は能川の団地で申しますと学年当りの児童数は、ござに當時は十名程度でございますし、一学年当りがそれ、六十戸あるものであります。現在は一学年当り二十数名という段階にきております。来年当りから三十何名とぼると思います。そして、驚くことには現在一才の子供が百十二名おります。一日十二名が六学年です。もう一倍いたしますともうそれだけで一つの学校がござ、小規模の学校が少い。要はという状態でございます。もう一つに能川田庄が二小の管内にあるという事も、大抵は原因でございますが先程助役さん

かりお話しがございまして第六小学校の団地を今年買て来年度校を建てるといいますと、学校を建て開校する時期が四十三年度の下半期にぼるか、あるいは四十四年度の当初とぼるか、ぼりいしませんが四十三年度に建るといって新しい学校は十学級、それから二小の二は二十学級にしかございせん。普通教室は三十二ございます。二十学級にしかぼりないであります。現在三十五学級でございまして、このままでございますと来年は三十七、八学級にぼりまして、もう状態が、どうしても計画があり学校を建てること、がゆ、要でございまして新しい学校も最初十学級でございまして、二学級づつふえてきて、四十八年度に大体他の学校と同じ規模の二十学級程度にぼるわけでございます。この計算は二小から建つ家を全然計画に入れません。現在ある住居の子供の数がございまして、二小が田んぼが開発され住居がございという事にあります。これにプラス、アルファがございます。又第三小学校でございまして、三小は二十一教室の計画規模で来年は二十学級になります。